

報道機関各位

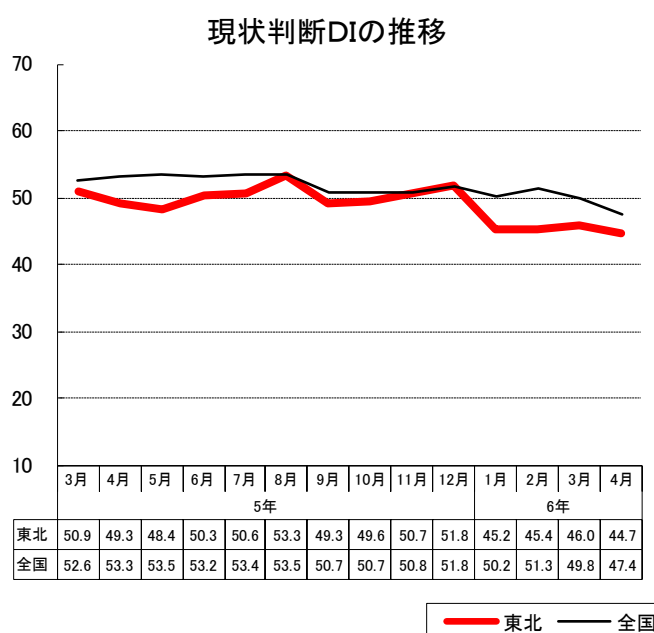
公益財団法人東北活性化研究センター
「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和6年4月 東北分
(東北6県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：増子 次郎 東北電力株式会社 会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和6年4月 東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

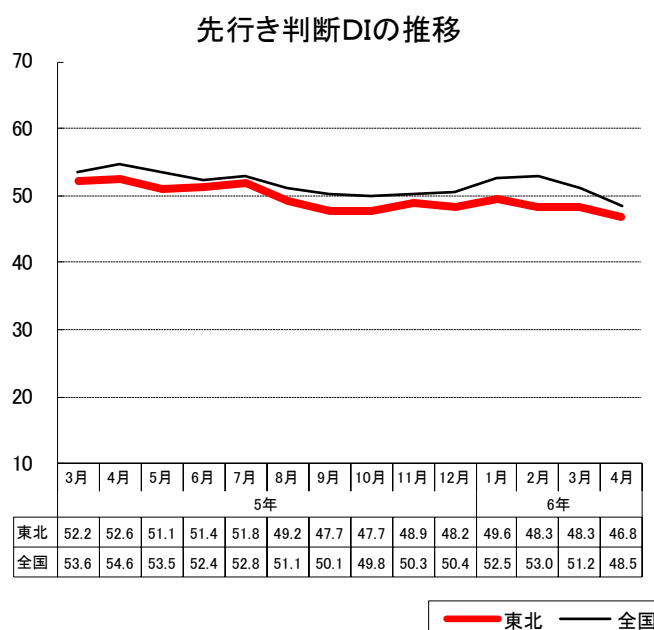
（1）現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断 DI は「44.7」と3 か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲1.3 ポイント低下した。



（2）先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

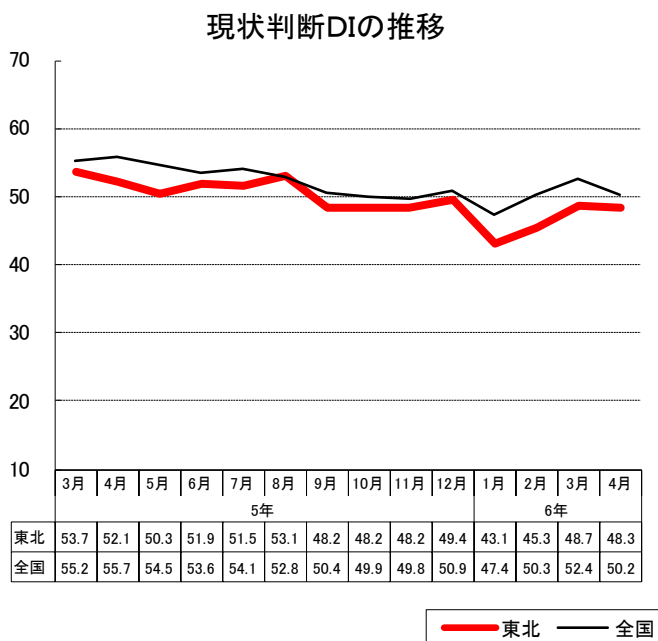
先行き判断 DI は「46.8」と前月を下回った。前月と比較し▲1.5 ポイント低下した。



2. 原数値

(1) 現状判断 (3か月前との比較、方向性)

現状判断 DI は「48.3」と3か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲0.4 ポイント低下した。



○家計動向関連…一般小売店、百貨店、観光名所・遊園地・テーマパーク等の業種で DI が前月を上回ったが、コンビニ、スーパー、旅行代理店等の業種で DI が前月を下回った。

DI は「47.2」(▲1.7)と、3か月ぶりで前月を下回った。

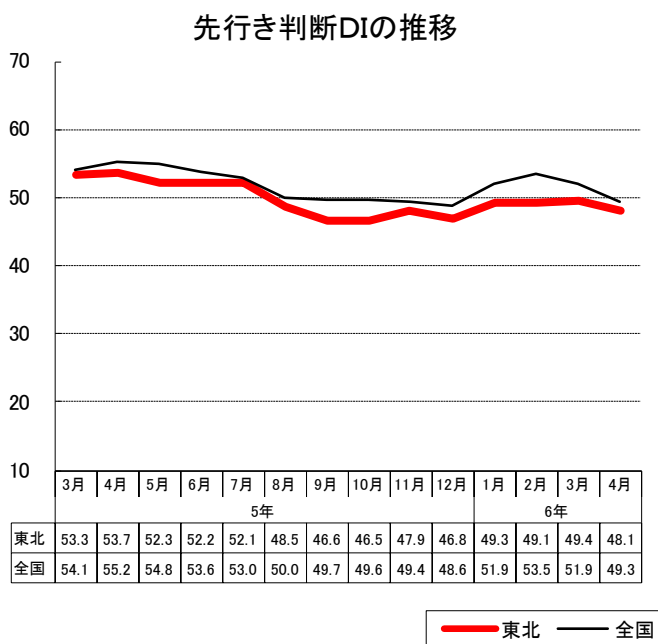
○企業動向関連…金融業、出版・印刷・同関連産業、農林水産業の業種で DI が前月を下回ったが、建設業、その他非製造業[飲食料品卸売業]、一般機械器具製造業の業種で DI が前月を上回った。

DI は「50.0」(+1.4)と、2か月ぶりに前月を上回った。

○雇用関連…DI は「51.3」(+3.8)と、4か月連続で前月を上回った。

(2) 先行き判断 (2～3か月先の見通し、方向性)

先行き判断 DI は「48.1」と2か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲1.3 ポイント低下した。



○家計動向関連…乗用車・自動車備品販売店、一般小売店、コンビニ等の業種で DI が前月を上回ったが、一般レストラン、衣料品専門店等の業種で DI が前月を下回った。

DI は「48.0」(▲0.7)と、2か月連続で前月を下回った。

○企業動向関連…建設業の業種で DI が前月を上回ったが、輸送用機械器具製造業、輸送業、食料品製造業等の業種で DI が前月を下回った。

DI は「50.7」(▲2.8)と、2か月ぶりで前月を下回った。

○雇用関連…DI は「43.8」(▲2.5)と、2か月ぶりで前月を下回った。

<参 考>

■D I の推移（原数値）

（１）現状判断（方向性）D I

	5年											6年			
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
東北現状	53.7	52.1	50.3	51.9	51.5	53.1	48.2	48.2	48.2	49.4	43.1	45.3	48.7	48.3	
家計動向関連	53.3	51.8	48.4	50.7	52.5	54.3	48.7	48.1	49.3	50.7	42.4	43.5	48.9	47.2	
企業動向関連	55.6	51.4	50.0	52.7	48.6	54.7	50.7	48.6	45.1	49.3	45.1	50.0	48.6	50.0	
雇用関連(参考)	52.6	55.3	61.8	57.9	51.3	42.1	40.8	48.7	47.4	42.1	43.4	47.4	47.5	51.3	

（２）先行き判断D I

	5年											6年			
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
東北先行き	53.3	53.7	52.3	52.2	52.1	48.5	46.6	46.5	47.9	46.8	49.3	49.1	49.4	48.1	
家計動向関連	51.8	52.9	50.9	51.5	50.9	49.1	46.9	46.6	47.4	45.4	49.1	50.0	48.7	48.0	
企業動向関連	56.9	54.2	52.7	52.7	56.1	48.0	45.3	48.6	46.5	50.0	50.7	47.9	53.5	50.7	
雇用関連(参考)	55.3	57.9	59.2	55.3	51.3	46.1	47.4	42.1	53.9	48.7	47.4	46.1	46.3	43.8	

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 令和6年4月25日～30日

回答者数 172/189 名、回答率 91.0%（全国 1,809/2,050 名、88.2%）

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：三浦 融）

〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-10

TEL：022-222-3394 FAX：022-222-3395

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（１）現状判断理由

○「良くなっている」

（その他非製造業[飲食料品卸売業]）…中旬までは前年並みの動きだったが、下旬はゴールデンウィークに合わせて受注が伸びた。営業日が１日多かったことと月末が稼働日だったことが好調の要因である。

○「やや良くなっている」

（一般小売店[酒]）…暖くなり観光客が増えているため売上が増えている。

（家電量販店）…例年ならば新入学・新生活の客が落ち着き、売上は落ち着く時期だが、今年は気温が25度を超える日が数日続いたため、エアコンを購入する客が多くなっている。前年、取付けに1か月以上掛かったため購入を断念した客が、早めに購入するケースが多くなっている。

（旅行代理店）…円安の影響もありゴールデンウィークは国内旅行が好調に推移している。ただし、前半3連休と後半4連休に分かれているため、近場での宿泊の比率が高くなっている。

（美容室）…暖くなり客の出足が少し良くなっている。

（一般機械器具製造業）…生産設備の治工具部品の注文が、少しずつではあるが増えている。

（人材派遣会社）…4月初旬の動きは鈍かったが、後半に近づくにつれて活発になっている。特に、時期的に先の転職相談だけではなく、目先の転職を考えて登録する人が増えている。

○「変わらない」

（百貨店）…アイテム動向としては花見や行楽関連などが動いており、前年よりも外出マインドの高まりがみられるが、購買動向としては必要最低限のものに絞る傾向が継続している。

（衣料品専門店）…売上は前年比100%を確保したが、来客数は同90%と落ちている。客単価が前年より高いのは、物価上昇で各商品の単価が上がっているためである。来客数が伸びなければ改善は難しい。

（乗用車販売店）…買換えの商談はあるものの、以前より車両価格が上がっている影響で新車成約に結び付くケースが少ない。反面、中古車販売は前年比2割増しと好調である。

（その他専門店[ガソリンスタンド]）…原油相場、為替などの影響で製品コストが上昇している。燃料油価格激変緩和補助金によって販売価格に大きな変動はないが、高値が続いていることから販売量は増えることはない。

（都市型ホテル）…今月は入学式、キックオフのイベントでの利用が多くなっている。

（旅行代理店）…新型コロナウイルス感染症発生前の需要に戻りつつあるものの、人手不足や物価高騰により取り込めていない状況である。

（タクシー運転手）…今月は比較的雨天が少なく晴れの日が多かったため、利用者が少なくなっている。ただし、官庁や企業の歓迎会や花見などでは多数の利用があった。

（観光名所）…売上を支えてきたインバウンドの動きは少し後退気味だが、日本人観光客の動きは活発で、4月中旬から振り客の数が増えている。売上は横ばいである。

（その他住宅[リフォーム]）…住宅設備機器は気温の上昇に伴いエアコンの交換工事が増えている。リフォームは補助金対象の高断熱窓への交換工事が増えている。また、好天に恵まれ屋外の壁塗装工事も増えている。

(建設業) …大型受注はないものの、一定の受注契約を獲得できている状況である。

(金融業) …観光ニーズの取り込み増加により、宿泊業など関連業種の業況は上向いている。一方、個人消費は物価上昇に比べて賃上げの実感が追い付いておらず、抑制傾向は変わっていない。

(新聞社[求人広告]) …広告需要は伸びる気配がなく、求人広告も顕著な動きはない。人材不足、物価高騰による需要の減少が影響し、景気が改善しているという企業は周囲にはない。

○「やや悪くなっている」

(商店街) …物価高騰対策で4月に賃上げを行った企業が散見されたが、大企業以外1時間当たり50円程度の賃上げにとどまっており、物価上昇分をカバーできていない。

(スーパー) …来客数が減っている。物価の上昇により、客は生活防衛意識が強くなっており、買上点数も減少している。

(コンビニ) …来客数は辛うじて前年比100%を維持しているが、客単価は前年比2%減少している。買上点数も減少傾向にある。

(住関連専門店) …物価は上がり円安も続いているため、暮らしにくい状況が続いている。消費に慎重になる人が多くなっている。

(通信会社) …放送サービスの新規契約者数が減少傾向にあり、既加入者の解約も増えている。若者を中心に動画配信サービスの人気が高くなっており、テレビに金を払う人が減っている。テレビをインターネットに接続するためのWi-Fi環境を整備する家庭が増えており、通信サービスの新規契約者数が伸びている。全体的には契約者数は低調である。

(出版・印刷・同関連産業) …物価高騰のあおりを受けてか、発注を控える動きや見積り競争が厳しくなっている。

(職業安定所) …新規求職者数のなかで、事業主都合による離職者数の増加が続いている。

○「悪くなっている」

(農林水産業) …農業機械や農業設備の価格が高騰しており、設備投資をしたくてもできない状況になっている。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

(一般小売店[酒]) …季節も良くなり行楽シーズンに入るため、様々なイベントが開催され、人流の増加が見込まれる。ただし、今後の賃上げと物価高の推移を注視する必要がある。

(コンビニ) …季節が変わり人の動きが良くなるため、景気は少しずつ良くなるとみている。

(建設業) …現在交渉中の民間案件等の受注契約の見通しが立っている。

○「変わらない」

(百貨店) …今後も大型催事やフロアのリニューアルを計画しており、売上の前年超えが期待できる。

(スーパー) …買上点数が回復すれば見通しも良くなるが、値上げが続く限り買い控えも続くともみている。

(乗用車販売店) …車両価格だけでなく交換部品の価格も上がっている。しばらくは新車成約が難しい状況は変わらないとみている。

(その他専門店[靴]) …商品の値上げで客の購買意欲が低くなっている。

(旅行代理店) …円安により海外旅行の復活が厳しい。一方でインバウンドは好調である。

(金属製品製造業) …やや良いニュースも聞こえてきているものの、状況が良くなるまでには半年以上掛かるとみている。

(輸送業) …賃上げによる人件費の上昇と 2024 年問題による物流費等の上昇により、幅広い分野で値上げラッシュが続いている。このような状況で景気が回復するのかを懸念している。

(司法書士) …相続登記義務化の影響で相続登記の需要が伸びている。一方で、新築戸建て住宅の単価上昇が著しく、当該受託案件の伸び悩みが予想される。

(人材派遣会社) …求人数、求職者数共に減少している状況は変わらないとみている。次回繁忙期となる今秋の同業他社を含めた動向を注視したい。

(新聞社[求人広告]) …インバウンドや観光客は多くなっているが、物価高騰による消費控えもあり、広告の回復は当面期待できない。

○「やや悪くなる」

(衣料品専門店) …円安の影響で輸入品の値上がりが止まらない。余り単価が高くなると売上は伸び悩むことになる。

(その他小売[ショッピングセンター]) …5月下旬から6月中旬にかけて、当地で前年はなかったイベントが予定されており、期間中は県外客の駅利用増加に伴い、当館でも飲食業を中心に好調が見込まれる。しかし、商品単価の上昇は落ち着いた一方で、生活サービス面の値上げが散見されるため、客の節約志向は続いており、2～3か月先も楽観視できない。

(一般レストラン) …物価は上昇し税金も高くなっているが、賃上げが追い付いていない。それでは消費は増えない。そもそも賃上げしているのも大手企業だけである。

(食料品製造業) …円安もあり、コスト増加が懸念される。

(輸送用機械器具製造業) …事業別に見ても良い情報はなく、良くなる見込みもない。期待していた半導体の動きも鈍く、良い状況になるには時間が掛かるとみている。

(職業安定所) …事業所の都合で解雇される人が多くなることが見込まれる。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上